



議会だより

でいすかす

88号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2017.8.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます



一般質問 議員10名が 市政を問う

平成29年第2回定例会

問 今回引き上げを判断するに当たって、市民生活への影響をどのように考えたのか。

答 市民生活に与える影響は理解しながらも、将来にわたって下水道サービスを安定的に供給するには、市民に引き上げをお願いせざるを得ないと考えた。

問 この間における財政状況は。

答 平成10年度と平成27年度を決算額で比較すると、支出面では施設維持管理経費が約1億円、公債費が約8億円増額した。一方収入面では使用料収入の増額幅は約4億円、汚水管渠の整備がほぼ終了したことにより、受益者負担金が約2億円の減になるなど厳しい経営環境であった。

問 地方財政の先行きが不透明だったことや景気低迷が長引く中、市民生活への影響なども考慮し、引き上げを見送った理由は。

答 地方財政の先行きが不透明だったことや景気低迷が長引く中、市民生活への影響なども考慮し、引き上げを見送った理由は、

問 使用料改定の内容は。

答 基本料金は1千520円に引き上げる。1カ月20㎡の水道を使用した場合、現行で3千628円が4千168円となり、14・88%の引き上げとなる見込み。

下水道使用料改定案と市民への影響は
佐々木 久美子

問 創生総合戦略の目標達成に向けて、今年度事業評価や実施計画の進捗状況を一つの目安としながら、事業の効果を検証した上で、必要な見直しと改善を図ることにより、翌年度の取り組みに生かしていくPDCAサイクルを実施することとしている。

答 本市の創生総合戦略については、KPIの進捗状況を一つの目安としながら、事業の効果を検証した上で、必要な見直しと改善を図ることにより、翌年度の取り組みに生かしていくPDCAサイクルを実施することとしている。

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、総合計画第3期基本計画と連動した取り組みとされており、毎年度、各施策の効果検証を実施することになっている。このたび公開されていた平成27年度の効果検証結果を踏まえ、基本目標および重要業績評価指標(KPI)の目標達成に向けた円滑な業務管理手法(PDCAサイクル)による評価の今後の取り組み方法は。

答 まち・ひと・しごと創生法により、平成27年10月に策定された「登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

創生総合戦略の目標達成に向けて
天神林 美彦

※PDCA…Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取ったもので、仕事をどのような過程で回すことが効率よく業務を行えるようになるかという理論のこと。